

## 戦略的な都市間連携の推進 ～持続可能な発展に向けて～

浜松市企画調整部国際課

### はじめに

浜松市は、スズキ、ヤマハ、ホンダなどの世界的な企業が多数立地し、その旺盛な企業活動を通じて海外での滞在経験を積んだ市民や本市の経済活動を支える外国人市民が数多く居住しています。

また、世界に名だたる楽器産業が集積しており、その特徴を生かして、浜松国際ピアノコンクールを開催するなど音楽のまちづくりを進めています。

こうした本市の特徴を生かし、特定の都市との交流や国際組織への加盟を通じた世界の諸都市との幅広い連携を積極的に推進しています。

本稿では、持続可能な発展に向けた戦略的な都市間連携の取り組みについてご紹介します。



大船渡市の幼稚園への楽器の寄贈  
(浜松・ロチェスター友好委員会委員長)

### 海外諸都市との連携

#### (1) 特定の都市との交流

本市では、市民主体の交流である姉妹都市交流と、音楽や観光など特徴的な分野において施策推進を図る都市間交流を進めています。

##### ① 姉妹都市

本市は、アメリカのロチェスター市、キャマス市、シェヘリス市、ポータビル市の4つの都市と姉妹都市交流を行っています。いずれも姉妹都市委員会など市民が主体となり交流を行っており、長年にわたる草の根交流により国境を越えた信頼関係を構築しています。ロチェスター市を例に挙げると、東日本大震災を受けてロチェスター市の市民が支援のため募金活動を行い、浜松市側の姉妹都市委員会が橋渡し役となって、大船渡市の幼稚園・保育園に楽器を寄贈しました。

##### ② 友好都市

特徴的な分野における都市間交流として本市では、音楽や観光の分野の交流を推進しています。音楽分野では、ポーランドのワルシャワ市と1990年に音楽文化友好交流協定を締結し、音楽文化の振興に資する交流を行っています。

観光分野では、中国の瀋陽市と2010年に、杭州市と2012年に友好都市協定を締結し双方の観光振興を目的とした交流を行っています。2012年度には、自治体職員協力交流事業(LGOTP)を活用し、瀋陽市政府から職員を受け入れ本市の観光交流課で約半年間研修を行いました。2013年には、富士山静岡空港の就航先である台北市と観光分野の友好都市協定を締結し、台湾からのインバウンドの拡大に繋げていく予定です。

また、日本で最も多くブラジル人が暮らす本市の特徴を生かしてモジダスクルーゼス市やマナウス市をはじめブラジル諸都市との幅広い交流も行っています。



UCLG ASPACコンGRESS2010浜松  
浜松宣言の採択



日韓欧多文化共生都市サミット2012浜松  
浜松宣言の採択

## (2) 国際組織への加盟を通じた交流

本市は、世界最大の地方自治体の連合組織である都市・自治体連合（UCLG）に加盟し、これまで主にアジア太平洋地域（ASPAC）の都市との連携を深めてきました。2010年には、ASPACの会員都市が一堂に会する「UCLG ASPACコンGRESS2010浜松」を開催し、アジア太平洋地域の地方自治体間の一層の連携促進を図りました。浜松市長は現在、ASPACおよび世界組織の執行理事ならびに評議員を務めており、UCLGに積極的に参画することでインドネシアのジャカルタ市や韓国のテグ市、台湾の台北市をはじめアジアの主要都市の首長との友好関係を構築しています。このようなネットワークを生かし、2009年に本市で開催した園芸の博覧会である「浜松モザイクカルチャー世界博2009」には、UCLGの会員都市12都市に参加していただきました。先述の台北市との観光分野の友好締結もUCLGを通じた信頼関係に基づくものです。

また、2012年には、健康都市連合に加盟し、市民の健康づくりの推進のため海外の諸都市と経験やノウハウの共有を図っています。

2012年10月に本市において、日本、韓国、欧州の多文化共生都市の首長や実務者が一堂に会する「日韓欧多文化共生都市サミット2012浜松」を開催しました。サミットでは各都市における先進的な取り組みや課題が示されるとともに、多様性を都市の活力として生かし、都市政策として多文化共生を推進していくことの重要性が確認されました。

さらに、本市の将来像である「創造都市・浜松」の実現に向け、音楽を中心とした分野で世界の諸都市との連携を推進するため、現在、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟の手続きを進めています。

## 国際戦略プランの策定

国と国の関係は、その時々国際情勢のなかで、難しい局面を迎えることがあります。そうした状況において、都市間の交流や民間交流が果たす役割はますます重要となっています。また、グローバル化が一層進展する中、中小企業の海外展開の支援やインバウンドの促進、物産の販路拡大など、国際的な視点にたった取り組みが重要な課題となっています。

こうしたことから、積極的に海外諸都市との連携を推進し、新興国を中心とした成長エネルギーを本市の発展に繋げるとともに、官民連携かつ組織横断的に国際的な取り組みを推進するため、本市の国際的な取り組みの指針となる国際戦略プランを現在策定しています（2013年度中に策定予定）。

今後、この国際戦略プランに基づき、市民主役の国際交流と各分野の施策推進を目的とした都市間連携を積極的に推進し、本市の持続可能な発展を目指していきます。